すっぴんの会　大盛況

　1月23日(土)に盛岡市立桜城小学校にて「平成27年度　すっぴんの会(吃音のある子と保護者の交流会)」が開催されました。今回は天候にも恵まれ、県内各地のことばの教室や幼児教室から子ども40名、保護者29名、先生22名、合計91名が集まり開催されました。
　レクリエーションや餅つき、親子分かれての語り合い等を行いました。参加した子ども達は遊んだり、餅を食べたり、話し合ったりしながら、友だちを作ることができたようです。また、親御さんも、餅つきの準備をしたり、食べたり、語り合ったりしながら、自分の思いや考えを交流し合うことができたようでした。ことばの教室の先輩や先輩の親御さんやたくさんの先生方の参加のお陰で、有意義な時を過ごすことができました。ありがとうございました。
　この会は今年で14回目となり、毎年、この時期に開催しています。リピーターも増えてきています。ことばの教室を終了したお子さんや保護者の方も大歓迎ですので、次回の開催の際もたくさんの参加をお待ちしています。


挨拶　県親の会事務局長　林　義明


レクリエーションをして、段々リラックス


いよいよ餅つき、元気につきました


1番人気はあんこ餅でした


子ども達の交流　語り合いやゲーム


親の交流　語り合い

全国ことばを育む親の会　東北ブロック代表者会議　報告

　今年度は，11月14日(土)15日(日)に秋田県南秋田郡大潟村のホテル「サンルーラル大潟」にて会議が行われ，青森県1名，秋田県4名，宮城県2名，福島県1名，岩手県2名(主濱会長・林事務局長)，計10名の代表が集まりました。
　会議では，平成26年度の決算報告，全国大会佐賀大会の内容，各県の行政への取り組み，運営などの意見交換が行われました。また，これまでの歴代ブロック長に感謝状を贈ることが決定されました。岩手県は，故 成田廣邦氏(昭和62年～平成3年)，臼澤弘泰氏(平成14年～19年)，佐々木信孝氏(平成22年～25年)の3名が受賞しました。岩手の親の会の活動は，他県からも高く評価されています。

　来年度は，地域を巻き込む形で，福島県で開催される予定です。





紹介！　県央ブロック交流会

　11月14日(土)に，盛岡市立杜陵小学校において，県央ブロック交流会が開催されました。今回は，盛岡支部が主催し，紫波支部・矢巾支部の3支部の役員や先生方，10人が集まり，2時間程度の交流会となりました。それぞれの支部の活動の様子を交流する内に，自分たちの支部でもできそうなことや，一緒に取り組んだ方がよいことなどが話題に上りました。また，それぞれの課題についても，情報を聞きながら考えることができたようでした。

　例えば･･･「幼稚園や保育園(所)、保健センター等，ことばのことで困っている保護者が目にしやすいところへ，ポスターを貼ったり，チラシを配付しての啓発活動」「通級している保護者が心理学の先生の話を聞く学習会」「賛助会員とのつながり」「巡回指導についてのアンケート」など･･･

　盛岡支部長の若松世津子さんは，「お互いの話の中から発見するものがありました。各支部の活動に取り入れてほしいです。」と，事務局の森田 巧先生は，「隣の町でありながら知らないこともある。内容が深い交流ができたと思う。続けることが大事です。」と話していました。自分たちの活動を見直す機会となる交流会となったようでした。
　このように近隣の支部との交流会を開催しましたら，県親の会事務局までお知らせください。紹介させていただきたいと思います。

すっぴんの会(吃音のある子と保護者の交流会)　の参加者募集！

「すっぴんの会」は，餅つきやレクリエーションをしたり，子どもや親がグループに分かれて語り合ったりして交流する会です。吃音への思いが少しでも前向きになってくれることを願って毎年開催しております。参加を希望される方は，県内の各ことばの教室や幼児教室へお問い合わせください。たくさんのご参加をお待ちしています。

　＜開催日時＞　平成28年1月23日(土)10:00～14:30　　＜会場＞　盛岡市立桜城小学校　　＜参加費＞　子ども200円，大人300円　　＜持ち物＞　はき物(子どもは中ズック)，お椀かお皿，はし

結成50周年記念大会　報告集　完成

6月に行われました親の会結成50周年記念大会の報告集が完成しリーダー研修会の席で各支部に配付することができました。報告集には参加した方々の感想がたくさん載せられています。どの教室にも配付になりますので，皆さんで目を通していただければと思います。原稿をお寄せいただいた各支部の皆さま，ご協力ありがとうございました。

平成27年度　リーダー研修会

今年度のリーダー研修会は，9月5日（土）サンセール盛岡において，各支部役員・教室担当者，本部役員合わせて63名の参加を得て開催いたしました。開会行事では，岩手県難聴言語障がい教育研究会 会長 深田好昭 様，岩手のことばを語る会 会長 菊池義勝 様に，ご挨拶を頂きました。

全体の学習会では，親の会参与であります 盛岡市立杜陵小学校 指導教諭　森田　巧　先生に「親の会とともに」と題し，今後の親の会活動はこうありたい！ということを具体的に表現豊かにお話し頂きました。「参考になった」「運営に役立てたい」という感想が多くありました。

その後の分科会では，教室数が同じ位の支部が4つに分かれ，事前に各支部から報告いただいた5つの状況（①幼児教室　②巡回指導　③通級に対する交通費の支給やそれに代わるもの　④軽度及び中度の難聴児への補聴器の補助金　⑤支部のよさや課題）について話し合いました。「他支部で行っていることで，初めて知ることもあった。」「同じことを悩んでいることが分かった。」というような感想がありました。また，分科会報告では他の分科会の話し合いの様子を交流しあうこともできました。

県本部としては，各支部のニーズをつかみ県全体としての動きを把握していきたいと思っています。各支部もそれぞれのニーズをひろい，活動につなげていってほしいと思います。また，近隣の支部との交流やブロック交流等も進めて頂きたいと思います。

ご参加いただいた皆さま，本当にお疲れ様でした。










第32回　幼児期の言語教育研修講座

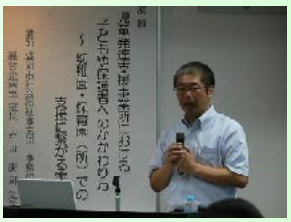
平成27年8月22日（土）に，県内の幼稚園・保育園（所）・こども園の先生や保健師，学校関係者等のための「幼児期の言語教育研修講座」を，いわて県民情報交流センター「アイーナ」で開催しました。参加者は　81名でした。事務局・スタッフを入れると約100名の参加となりました。

講演では「児童発達支援事業所における子どもや保護者へのかかわり方」として，盛岡市社会福祉事業団　経営企画室長　吉田康司先生に幼稚園・保育園（所）での支援につながる実践についてお話しいただきました。児童発達支援センター「いるか教室」での療育の様子や子ども達一人一人の課題に応じた支援の方法についてを映像を活用しながら分かりやすく教えていただきました。

その後の全体講座では，「幼児のことばの発達」について，演習を取り入れながらのお話を聞きました。最後に課題別の3つの講座に分かれての研修を行いました。「参考になった。」「園でもやってみたい。」という感想がたくさん寄せられました。今年度は参加者からの要望が多かった講座修了後の相談時間を設けました。時間いっぱい質問されている様子が見られ，参加者の熱心さを伺うことができました。

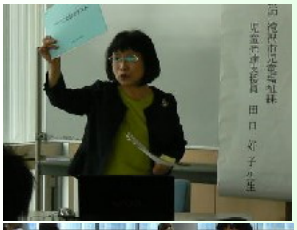
なお，来年度は，平成28年8月20日（土）に開催する予定です。子ども達や保護者の笑顔のために，お仲間にもお声をかけ，一緒に研修いたしましょう。


参加者は県内各地から


全体講話


講座A　幼児のことばの発達


熱心な参加者





講座B　ことばの課題　　講座C　子ども理解　　講座D　心を育てるかかわり　　演習の様子

平成27年度 親子合宿研修会 サマーキャンプ in 雫石（雫石・滝沢支部）

今年度のサマーキャンプは7月25日（土）26日（日）に，「休暇村 岩手網張温泉・網張ビジターセンター」を会場に開催され，参加者は親子，先生，来賓，スタッフ合わせて252名でした。
開会行事には，雫石町長，滝沢市教育長，雫石町学校教育課長，岩手県難聴言語障がい教育研究会会長，岩手のことばを語る会副会長の方々にご出席いただきました。その後，滝沢市の「劇団ゆう」によるミュージカルを鑑賞しました。
１日目の活動では，子ども達はゲームや網張の自然観察を楽しみました。親達は「劇団ゆう」の代表 菊田 悌一氏の講話「わくわくが生きる力」を聞きました。その後，「ことば2，はったつ2，きつおん，きこえ」の6分科会に分かれ，熱心に情報交換が行われました。夕食は親子で新鮮な野菜たっぷりの雫石の味を堪能しました。
２日目の活動は，雫石民芸の講師の方々に教えていただき，親子で「わら細工」の馬を作りました。うまくできるか心配そうでしたが全員完成させることができました。閉会行事では，行事の進行を子ども達が立派につとめ，２日間の活動が充実していたことが伝わってきました。
雫石・滝沢支部の親の会の皆さん，長い期間の準備，そして2日間の運営と大変お疲れ様でした。
来年の開催地，岩手・葛巻支部へも今回の充実した活動が引き継がれることを願っています。


開会行事



子ども達の活動の様子


分科会


親子制作活動


閉会行事

平成27年度 会長挨拶

主濱 友子

６月１３日開催の岩手県ことばを育む親の会結成５０周年記念大会，おかげさまで，成功裡に終えることができました。これも，ひとえに実行委員，会員の皆様方のご支援，ご協力の賜物と深く御礼申し上げます。ありがとうございました。
当日は，福祉，教育関係の方々，ことば設置校の校長先生方，全国の親の会の方々，報道関係の方々にも，お忙しい中，ご臨席賜り，感謝の思いで一杯です。
さて，大会後の７月１１日の県親の会総会で，佐々木信孝会長の後を引き継ぎ，第５代会長をお引き受けすることになりました主濱友子と申します。その折りには新三役も決定し新たな体制でのスタートとなりましたこと併せてご報告致します。
どうぞよろしくお願いいたします。

平成25年度には親の会の悲願であった，全市町村に「ことばの教室」設置が達成できました。しかしながら，喜んでばかりもいられません。全市町村設置が実現できても，この教育を断念せざるをえない子どもさんが数多く存在している事実があります。
子どもや保護者が安心して通級出来る体制づくり，加えて，就学前幼児のための「幼児教室」の設置要望等，解決していかなければならない課題は山積しています。この教育を必要としている子ども達のために，こらからも「だれでも・いつでも・どこでも」この教育が受けられるよう，親の会活動を進めていきたいと考えております。
各支部におかれましては，それぞれ課題を把握し，目標を立て，親の会活動を充実させていただきたいと思います。また，県本部としては支部間での活発な交流を推奨し，地域に根ざした親の会活動の推進を図って参りたいと考えております。
どうぞご協力宜しくお願いいたします。

平成27年度県親の会総会

親の会結成５０周年記念大会を終えた中，桜城小学校において各支部代議員出席のもと，平成２７年県親の会総会が行われました。会長及び県難言研会長の挨拶の後，質疑が行われ，事務局より平成２６年度の活動経過報告・決算報告ならびに鑑査報告があり，承認後，平成２７年度の活動方針・事業計画・予算案が提案され可決されました。今年度は役員改選の年にあたり，選考委員を選び，話し合った結果，選考委員会の提案通りに可決されました。以下，新役員を紹介します。
会長 主濱 友子（前事務局長），副会長 ４名 岡崎 清弘（再任） 小崎 真崎（再任） 小原俊彦（新任） 櫻岡 正久（新任），事務局長 林 義明（前副会長），会計監事 ２名 橋本 政樹（新任） 田口 好子（新任） 以上，選任されました。
５１年目がいよいよスタートします。よろしくお願いいたします。

「岩手県ことばを育む親の会結成50周年記念大会」～50年の歩みに学び 新たなるステップを共に刻もう～

50周年記念大会終わる

去る，６月13日（土）岩手県民会館において，盛会裏に記念すべき50周年大会が終了いたしました。

参加者は，全国各地から，北は札幌から東北各県そして南は山口県まで，530名の参加者で盛大に開催されました。

1　開会行事

大会は，深田好昭実行副委員長の開会のことばに続き，
主催者あいさつ，佐々木親の会会長，臼澤実行委員会委員長のこれまでの会のあゆみに触れ，先人に感謝する旨の挨拶がありました。

続いて，記念表彰として，本会の活動に永年関わってこられた「岩手県難聴・言語障がい教育研究会」と「岩手のことばを語る会」の二団体が表彰されました。

祝辞は，岩手県知事代理で岩手県保健福祉部佐々木信部長様，岩手県教育委員会八重樫勝委員長様に続いて，NPO法人全国ことばを育む会加藤　碩理事長よりお祝辞をいただきました。

大会宣言は，本会岡崎副会長によって声高らかに読み上げれられ，これから～50年以降の活動を示唆するものとなりました。






2　学習会

学習会は，津川哲二（語る会事務局長）先生の司会，初代会長夫人落合ハルさんと二代目会長夫人成田妙子さん，それに菊池義勝（ことばの教室初代担任）先生がステージ上で，これまでの歩みを振返り，活動の原点に亘るお話と，これからの親の会のあり方について話されました。

映像では，これまでの歩みと，県下全部の活動状況と，通級児童，卒業生の活躍の様子が流され，参加者に大きな感動を与えました。

3　記念講演

講師に，桜美林大学　山口創先生をお迎えし
「子どもの『脳』は肌にある」の演題の基，親子のスキンシップの大切さについて，先生の研究とデータをもとに，科学的で人間的なお話しをお聞きすることが出来ました。

幼稚園・保育園の先生方，保育関係の学生さん方も多く参加され，先生の研究の一端に触れることが出来て，大きな感動をもらったようでした。







大会終了後に，サンセール盛岡に於いて祝賀会が開かれ，130余名の方々でこれまでの歩みを語り合い，先人のあゆみに感謝の念を更に深めました。